

# 性別関係なく着られる制服

## 愛知淑徳大の研究所製作に取り組む

愛知淑徳大（長久手市片平）のジェンダー・女性学研究所は昨年、性別に関係なく着られる新しいジェンダーレス制服作りに取り組んでいる。スラックスやスカートなどどちらかを生徒が選ぶのではなく、みんなが同じものを着られるデザインが目標。男らしさ、女らしさといった考え方を問い直すきっかけにしたいという。

（伊藤ちさと）

### 高校生と意見交換 肯定多数

ジェンダーレス制服プロジェクトは、送部の取材を受けたり、二エクトは、同研究所ステレオ年度から長久手市内の全中学リムーブ課の活動の一環。二校が男女ともスポンを選択で〇二二年に制服に関する映像 きる制服を導入したりしたの作品を手がけた岡崎西高校放 がきっかけだ。「男女の『間

別に関係なく着用できるゆっ 最も評価が高かったのはベ ーシユのブレザーに、長めの チェック柄キョロットを合わ せたもの。反響。憲助教は「性 の成果を発表することも検討 している。

のデザインがあってもいいの ではと考えたという。 他校や従来のジェンダーレ ス制服との差別化、動きやす さ、品格、着心地などをテー マに、教員や学生の十三人で 六回のミーティングを重ね、 十種類のデザインを提案。昨 年十一月、同大の学生三百九 十三人にアンケートを実施し て評価してもらった。 「制服自体にはメリットを 感じていることが分かった」と反響さん。だからこそ、今 後も制服についての意識調査 を続け、今年の学祭で何らか

たりとしたパンツスタイルが 特徴」と話し、デザインを基 に実際に作ってみた。 先月十二日には、名古屋市 千種区の愛知工業大名電高校 生徒会の五人と意見交換会を 開催。普段着ている制服の印 象を聞くと、「服を選ぶ手間 がいらぬ」「中高生の時し か着られない」「学校の一員 として自覚が芽生える」など 肯定的な意見が多くを占め



①評価の高かったデザイン②と実際に製作された制服③長久手市の愛知淑徳大で④高校生（左の列）の意見を聞くジェンダー・女性学研究所のメンバー。手前の二人はアンケートで評価の高かった制服を着ている⑤名古屋市の愛知工業大名電高校で⑥いずれも愛知淑徳大ジェンダー・女性学研究所提供



2023年7月6日（木）中日新聞 朝刊より  
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。